

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月12日更新

事務事業名		環境美化推進員活動事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	上村 祐一郎
	施策	21	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	鍋島 一紗
	施策の柱	62	ごみの発生抑制とリサイクルの推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番	10189	根拠法令	合志市環境美化推進員設置要綱
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域のごみステーションの清掃等も兼ねて、市民に分別指導ができるような方の人材育成のため、平成11年度より開始した。環境美化推進員と市が連携し環境美化に取り組む。人口増に伴いごみステーションの設置箇所も増え、環境美化推進員の果たす役割は増大している。
【業務の流れ】	環境美化推進員への事業の説明会、報告会、報償費支払事務、推進員活動用物品の購入等
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費
【意見や要望】	区長や環境美化推進員より、増員の要望などがある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	環境美化推進員と連携し、年間を通じて地域の美化推進やごみの分別・減量に向けた取り組みを行った。環境美化推進員会議を開催した。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 環境美化活動に取り組む環境美化推進員への事業の説明会、報告会、報償費の支払事務。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議開催回数	回	令和4年度は美化推進員の任期開始年度のため、安全対策用ベストの配付が必要であり、新規購入する必要があるため需用費(消耗品費)の増
イ: 研修会参加者数	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人
		→ ア: 人口
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ごみの分別に対する意識を高める。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 回
		→ ア: 地域で活動された回数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
環境美化に取り組むうえで、環境美化推進員の活動は重要であるため、成果指標を「地域で活動された回数」とし、目標値は環境美化推進員一人一活動とし環境美化推進員数を設定値とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	ア	回	0	0	2	2	2	2	2	2
	イ	人	0	0	240	110	240	240	240	240
② 対象指標	ア	人	63,189	63,841	64,614	64,453	65,500	66,391	67,270	68,688
	イ									
③ 成果指標	ア	回	154	154	160	156	160	162	162	164
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	5,014	4,639	4,938	4,729	4,872	4,960	4,950	5,020
(A) 事業費計	千円	5,014	4,639	4,938	4,729	4,872	4,960	4,950	5,020	
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	6	5	7	5	7	7	7	7
	延べ業務時間	時間	374	580	400	690	400	400	400	400
	(B)人件費計	千円	1,474	2,267	1,593	2,626	1,593	1,593	1,593	1,593
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,488	6,906	6,531	7,355	6,465	6,553	6,543	6,613

事務事業名	環境美化推進員活動事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 近年はコロナ禍であったため、あまり会議が出来ていなかったが、今年度は2回とも会議を開催することができた。環境美化推進員の意識向上のための取組を行うことができた。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 目標達成のため、環境美化推進員一人一人の意識をを上げて活動してもらう。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ごみの発生抑制、リサイクルの推進状況はまだ十分とは言えず、啓発による成果向上の余地はある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業なし。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 会議は説明会と報告会の年2回は必要だと考える。環境美化推進員数を減らせば事業費の削減は可能だが、ごみの分別、発生抑制、リサイクルの推進が滞ると同時に、各推進員の負担が大きくなる恐れがある。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 環境美化推進員からの依頼で、ごみの分別指導や違反ごみの引取りなど、現地で排出者に指導することがあり、正規職員以外では対応できない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 各行政区からの推薦(2年任期)であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 一般廃棄物の処理は市町村の業務であり、市がごみの減量と地域の美化活動を推進していく上で、その業務を推進員に委嘱して行うのは適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

近年はコロナ禍であったため、感染拡大防止の観点から環境美化推進会議を実施できていなかったが、令和4年度はコロナ禍前同様に年2回実施することができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

新型コロナウイルス感染症により開催できていなかった環境美化推進員会議を通常の運用に戻していく。また、美化推進員へごみ分別等の周知啓発活動に取り組んでもらうよう積極的に周知をおこない、希望に応じて資料等の提供を行う。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

区により違反ごみの量や運用方法が異なるため、相談の際に個々の対応が必要となる。また人口増加しているが区に加入する世帯が少なく、加入世帯の負担が大きくなっている。そのため、R4にとったアンケート意見を集約し、対応を考える必要がある。また、環境美化推進員の在り方についても検討が必要である。